

## 大田から羽ばたく モノづくり夢工場

高度な技術力を持つ、約5,000もの工場が集まる大田区。お互いの技術・技能を生かし、協力し合いながら、世界に誇る日本の工業を育ててきました。そして現在も、モノづくりを愛する人々によって、新たなチャレンジが進んでいます。

区は、技術に優れ、かつ、働く人や地域にも配慮した工場を「優工場」として表彰し、大田の工業を内外にアピールすると同時に、現場の意欲を応援しています。

今回は区内の数多くの意欲あふれる工場のうち、2つの取り組みを紹介します。

工場の元気は、大田の活力です。皆さんも、周囲にある未来に羽ばたく元気な工場を見つけてみませんか。

### 目指すは一流の職人！ 金属加工でも女性が大活躍

10年前、男性ばかりだった現場に、区内の女子高校の卒業生が飛び込んできました。以来、毎年のように女性が入社するようになり、先輩に追いつき追い越せと、真剣なまなざしで機械に向かっています。BGMが流れ、床が塗装されるなど、職場の環境整備も進む中、100分の1の精度で金属を削るこの仕事を極めたいという高い志は、他の社員たちにも大きな刺激になっています。



コンピュータ制御された機械を操作する吉富さん。繊細な神経が要求される



1年目の萩さんの機械には初心者マークと細かいメモが



吉富彩未さん 萩 幸恵さん 武内麻美さん



武内さんは10年目。より精度の高い加工を担当する



#### (株)南武 野村和史 社長

特殊油圧シリンダのトップメーカー。「NAMBU」ブランドは海外からの支持も厚く、平成18年にはタイの「オオタ・テクノパーク」にも入居している。「営業、設計の分野も含め、社員の4割が女性です。他社の模倣はしない独自のモノづくりを進める中で、どこにでも通用する技術を持つ優秀な女性たちは、大きな力となっています」

